





神戸大学附属図書館要覧

2004/2005

国立大学法人神戸大学 附属図書館

目　次

附属図書館の歩み …… 1
附属図書館の機能と整備改善…… 2
図書館組織･事務組織 …… 4
現況統計･諸統計の年次推移…… 5
利用サービスの展開…… 6
図書館ホームページ…… 8
目録データベースの設計とOPAC…… 9
電子ジャーナルとデータベース…… 10
デジタルアーカイブの構築･提供…… 11
図書館情報システム…… 13

各館（室）の概要
　総合図書館･国際文化学図書館 …… 14
　社会科学系図書館 …… 15
　自然科学系図書館 …… 16
　人文科学図書館 …… 17
　人間科学図書館…… 18
　経済経営研究所図書館…… 19
　医学分館 …… 20
　保健科学図書室 …… 21
　海事科学分館 …… 22
　外国雑誌センター・震災文庫…… 23

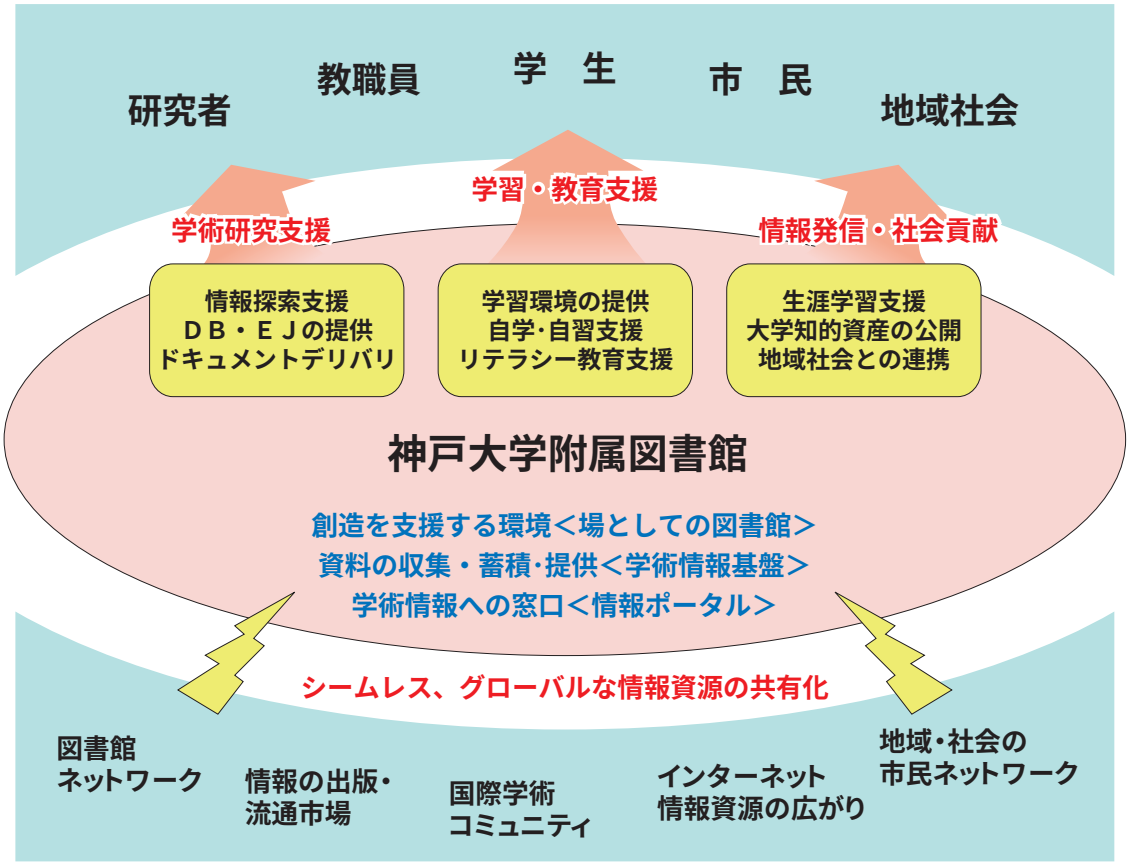
図書館配置図 …… 24
図書館所在地･連絡先…… 25

附属図書館の歩み

明治 35 年（1902）	神戸高等商業学校開校
37 年（1903）	神戸高等商業学校図書館開館（36 年に図書課設置、40 年に夜間開館開始）
大正 10 年（1921）	神戸高等工業学校開校（図書課を設置）
昭和　8 年（1935）	現・社会科学系図書館本館の主要部分を竣工
10 年（1935）	現・社会科学系図書館本館2階に壁画「青春」が中山正實氏（作者）から寄贈
18 年（1943）	第 1 回の三商大（神戸、東京、大阪）図書館協議会を開催
24 年（1949）	新制神戸大学の設置。附属図書館が置かれる
39 年（1964）	兵庫県立神戸医科大学が神戸大学医学部に。（41 年に附属図書館医学部分館を設置）
41 年（1966）	兵庫県立農科大学が神戸大学農学部に。（44 年に附属図書館農学部分館を設置）
54 年（1979）	附属図書館審議会が「神戸大学附属図書館構想と実現の経過措置」を承認
55 年（1980）	附属図書館に 1 部 2 課（整理課、閲覧課）の部課長制を布く。
56 年（1981）	現・社会科学系図書館の管理棟が竣工
58 年（1983）	情報処理センターのコンピュータを用いて業務電算化を開始（外国雑誌管理システムを運用）
59 年（1984）	自然科学系図書館の新築竣工（附属図書館中央図書館に人文・社会科学系図書館と自然科学系図書館を設置） 和雑誌管理システムの運用開始
61 年（1986）	人文・社会科学系外国雑誌センターに指定される 貸出管理システムの運用開始
62 年（1987）	学術情報センターとネットワーク接続
63 年（1988）	整理課を情報管理課に、閲覧課を情報サービス課に改称
平成 元年（1989）	図書館専用電算機を導入。目録業務電算化及び OPAC 提供を開始 図書管理システム、雑誌所蔵管理システム運用開始。
2 年（1990）	附属図書館審議会が「インテリジェント・ライブラリーの実現にむけて」を承認（翌 3 年に同（その 2）を承認）
4 年（1992）	評議会で図書館改革（総合図書館建設による集中化など）を承認 図書館の組織・機構及び運営費・事業費予算の一元化。6館室体制となる。 ILLシステムの運用開始。目録遡及入力事業（第一次五カ年計画）を開始
6 年（1994）	学内LANによる情報検索サービス（CD-ROM サーバ）の運用開始
7 年（1995）	阪神・淡路大震災。「震災文庫」の開設 図書館ホームページの正式運用開始
8 年（1996）	医学部分館の新営が「医学部・附属病院等共通棟」として竣工 人間科学系図書室の改築工事が竣工
9 年（1997）	図書館業務システムの更新（UNIX サーバによるトータルシステム）。WWW 版 OPAC の提供開始 医学部分館名谷分室の設置（医療技術短期大学部図書館を編入）。7館室体制に。 附属図書館研究開発室を設置 医学部分館で 24 時間開館を開始（11 年から自然科学系図書館も導入）
10 年（1998）	附属図書館審議会が「附属図書館新営計画の見直しについて」を学長に答申 補正予算により、「電子図書館システム」構築経費が措置される。「神戸大学電子図書館システム委員会」を設置
11 年（1999）	神戸大学電子図書館システムの運用開始。電子情報掛の設置
12 年（2000）	附属図書館審議会が「神戸大学附属図書館将来構想」を学長に答申
13 年（2001）	図書館業務システムの更新。「パーソナルサービス」の運用開始 情報リテラシー掛の設置
14 年（2002）	目録遡及入力の第三次五カ年計画を開始
15 年（2003）	電子図書館システムの更新 大学統合に伴い、神戸商船大学附属図書館を海事科学部分館に（8館室体制に）
16 年（2004）	国立大学法人化に伴う組織改編（「総合図書館」の設置、経済経営研究所図書館の編入など）

※年表示は暦年による

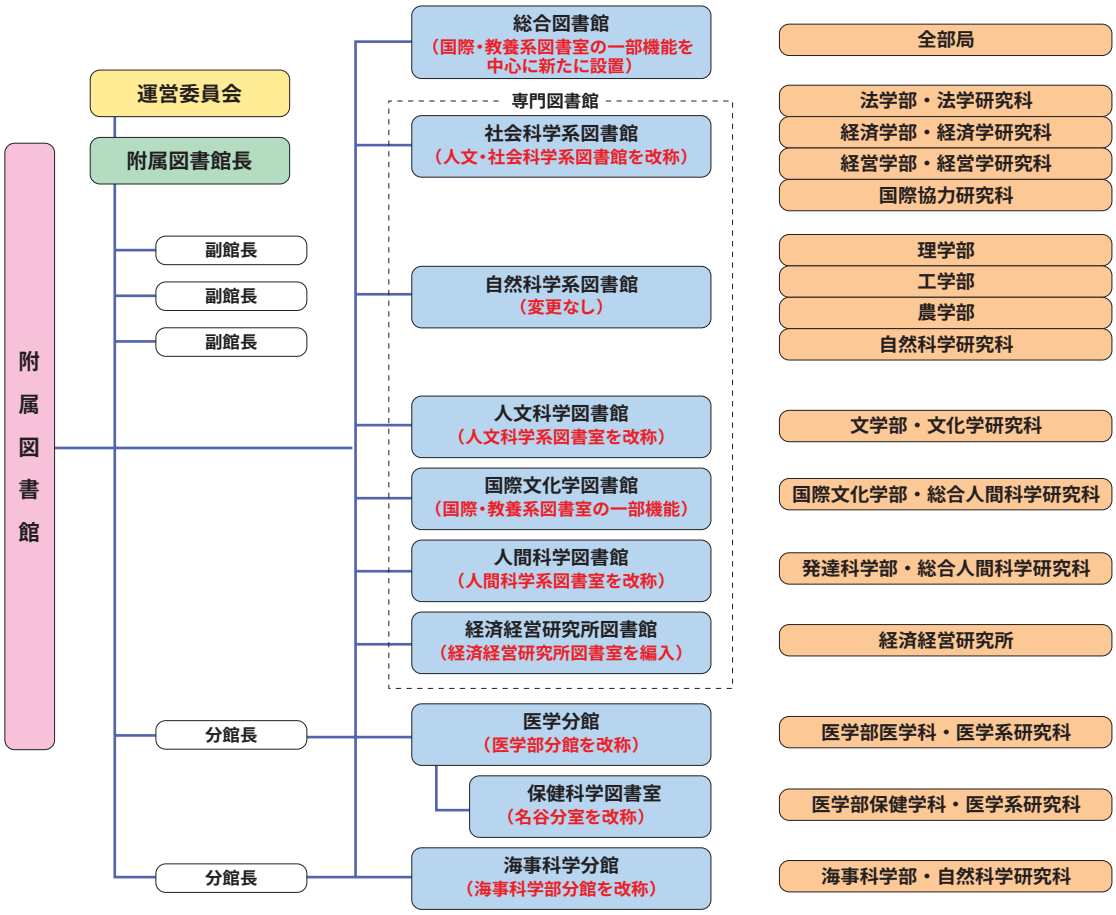
附属図書館の機能と整備･改善



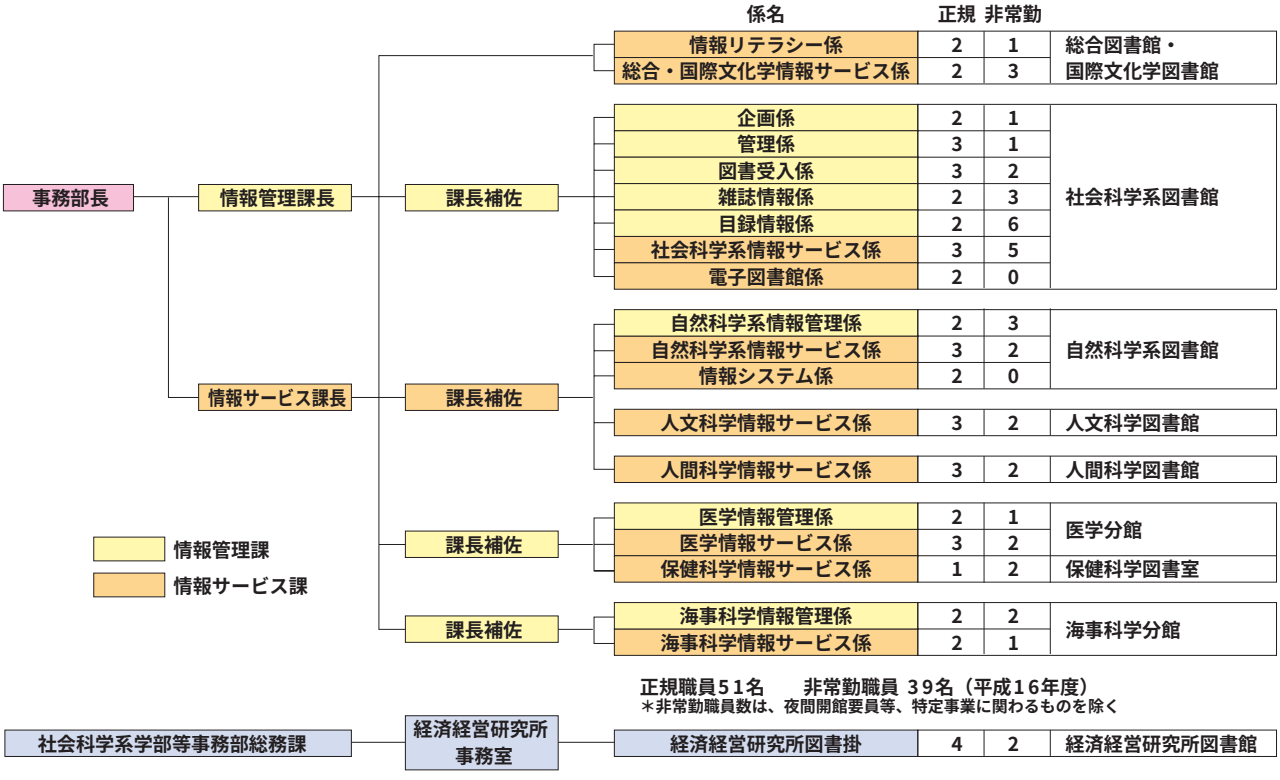
	図書館サービス改善･整備の歩み（H4の図書館組織一元化以降）	今　後　の　課　題
組織機構・管理運営	・図書館組織・機構の一元化（H4） ・医学部分館名谷分室を図書館組織に編入（H9） ・研究開発室の設置（H9） ・電子図書館システム委員会設置（H10　H15年度末で廃止） ・図書館審議会「附属図書館将来構想」答申（H12） ・神戸商船大学との統合、海事科学部分館を設置（H15） ・総合図書館、専門図書館、分館からなる新図書館組織（H16）	・総合図書館の整備、全学図書館調整機能の強化 ・学術情報収集・整備部門の業務集中処理による効率化 ・図書館職員採用・養成のあり方 ・図書資産の適正な管理
施設整備	【図書館新営・増築】 医学分館、新営竣工（H8） 社会科学系図書館増築（総合研究棟）着工（H15、H16竣工予定） 【改修等の整備】 ・人間科学図書館、改修による書庫・閲覧室の拡張（H8） ・電動集密書架の設置（人文H6、人間H9） ・手動集密書架の設置（人間H15） ・自然科学系図書館、改装により利用者スペース拡大（H16） 【その他】 社会科学系図書館、登録有形文化財に指定（H14）	【総合図書館の新営】 ・学習支援機能、全学図書館調整機能、地域貢献機能の充実 ・共同利用資料センター機能の整備 【専門図書館、分館の整備】 ・社会科学系図書館増築スペースに閲覧室、書庫、プレゼンテーション空間を整備 ・各館室学習環境の改善
システム整備	【情報システム整備】 ・図書館業務システムをUNIX系のトータルシステムに（H9、H13更新） ・神戸大学電子図書館システムの導入（H11、H15更新） ・図書館ホームページ開設（H7、H11、H15に全面リニューアル）	【情報システム整備】 ・技術変化、業務改善に合わせた適切なシステム更新 ・情報セキュリティ保持体制の整備

	図書館サービス改善・整備の歩み（H4の図書館組織一元化以降）	今 後 の 課 題
学習支援	【設備・機器の整備】 ・自動貸出装置の導入（H11-16に7館室） ・BDSシステムの設置（保健H10、医学H11、人文H12、人間H13） 【図書館資料の整備】 ・学長裁量経費による学生用図書資料、設備等の整備（H11-12,15） 【開館時間の拡大】 ・時間外開館の開始（人間H8、人文H9） ・試験期特別開館の開始（H11） ・日曜開館の開始（社会H12） 【オリエンテーション・ガイダンス】 ・各学部オリエンテーションで図書館を説明（H12） ・情報リテラシー掛を設置（H13） 【学習支援サービスの強化】 ・学生証ID化による図書館利用の磁気カード化（H9） ・資料配送（デリバリ）サービスの開始（H12） ・「パーソナルサービス」運用開始（H13）	【設備・機器の整備】 ・閲覧机、椅子、視聴覚機器、情報端末の計画的更新 ・自動貸出装置を全館に設置 【図書館資料の整備】 ・学生用基本図書の継続的・系統的な収集 ・系統的収集活動のため、選書体制見直し 【情報リテラシー教育の推進支援】 ・情報基礎授業の支援 ・図書館ホームページの情報提供を強化 ・教材・講義資料等のデジタル化支援、自学自習のためのポータル機能 【学習支援サービスの改善・高度化】 ・全館の原則開架制、資料配送（デリバリ）サービス拡充等、資料アクセス環境改善 ・主題アクセス環境改善のため、図書分類の標準化 ・夜間開館・休日開館の延長及びサービス向上
研究支援	【研究用学術資料の整備】 ・大型コレクションの整備（H4、H12、H13） ・自然科学系特別図書の整備（H6、8、10） ・学内LANを用いたCD-ROM検索サービス開始（H6） ・ERLサーバを用いた検索サービス開始（H7） ・エルゼビア社の電子ジャーナルを本格導入（H11） ・国大図協電子ジャーナルコンソーシアムに参画（H14） ・Web of Scienceの導入（H15） 【目録整備等】 ・目録遡及入力のための「インテリジェント化推進事業」（第一次5カ年計画H4～8、第二次H9～13、第三次H14～） ・貴重図書選定・利用要領の整備（H13） 【研究支援サービス】 ・24時間自動入退館システム導入（医学H8、自然H11） ・WWW版OPACの運用開始（H9） ・英国BLDSCへのILL依頼開始（H6） ・デリバリサービスの開始（H12） ・「パーソナルサービス」運用開始（H13） ・DDSの導入（H13）	【研究用学術資料の整備】 ・学術情報の基本的部分を学内で充足できるよう一次資料の十分な整備 ・電子ジャーナル及び二次情報データベースサービスの維持・拡大 ・外国雑誌センター館機能の維持 【研究支援サービスの高度化】 ・OPACの整備、新着資料情報の速やかな提供と遡及入力の早期完成 ・海外を含めた相互利用の拡大、電子的手法による迅速な提供体制 ・各専門図書館の利用要望を踏まえ、平日の開館時間延長、休日開館、24時間開館等を検討
情報発信・社会貢献	【学外者への資料サービス】 ・震災文庫開設、一般公開（H7、H8に国立大学図書館協議会賞受賞） ・放送大学学生への図書貸出（H14） 【電子図書館システムによる発信等】 ・科学研究費研究成果公開促進費「社会科学文献・画像データベース」（H7-10） ・科学研究費研究成果公開促進費「阪神・淡路大震災マルチメディアアーカイブズ」（H11-15） ・震災デジタルアーカイブの本格稼働（H11） ・デジタル版新聞記事文庫の公開（H12） ・学内研究成果資料（中川家文書、藻類標本ほか）公開（H12～） 【図書館界での諸活動】 ・目録システム地域講習会開催（S63～H14） ・国立大学図書館協議会シンポジウム開催（H5,9,15） ・NII目録関係各種委員会への参加（H5～15） ・国立大学図書館協議会監事館 ・兵庫県大学図書館協議会会長館	【市民への図書館開放】 ・学外者、一般市民への資料提供サービス（含：館外貸出）の充実 ・地域の公共図書館との間で、相互貸出・横断検索等、積極的な連携協力 ・「震災文庫」の資料収集をさらに進め、広く社会に公開 ・資料展示会等の開催 【電子図書館システムによる社会への情報発信】 ・震災関連資料、貴重資料等のデジタル化・公開をさらに着実に推進 ・神戸大学で生産される各種研究成果情報をネットワーク上で情報発信するポータル機能の整備

図書館組織



事務組織と職員配置



係名	正規	非常勤	
情報リテラシー係	2	1	総合図書館・
総合・国際文化学情報サービス係	2	3	国際文化学図書館
企画係	2	1	社会科学系図書館
管理係	3	1	
図書受入係	3	2	
雑誌情報係	2	3	
目録情報係	2	6	
社会科学系情報サービス係	3	5	
電子図書館係	2	0	
自然科学系情報管理係	2	3	自然科学系図書館
自然科学系情報サービス係	3	2	
情報システム係	2	0	
人文科学情報サービス係	3	2	人文科学図書館
人間科学情報サービス係	3	2	人間科学図書館
医学情報管理係	2	1	医学分館
医学情報サービス係	3	2	
保健科学情報サービス係	1	2	保健科学図書室
海事科学情報管理係	2	2	海事科学分館
海事科学情報サービス係	2	1	
経済経営研究所図書掛	4	2	経済経営研究所図書館

正規職員５１名　　非常勤職員 ３９名（平成１６年度）
＊非常勤職員数は、夜間開館要員等、特定事業に関わるものを除く

図書館の現況統計

		総合図書館・国際文化学図書館	社会科学系図書館	自然科学系図書館	人文科学図書館	人間科学図書館	経済経営研究所図書館	医学分館	保健科学図書室	海事科学分館	合計
16年3月現在蔵書冊数（15年度受入冊数）	和漢書	313,128 (8,540)	534,626 (12,708)	231,219 (2,930)	159,661 (3,421)	229,857 (2,546)	110,530 (1,534)	45,696 (1,622)	42,001 (1,423)	184,480 (3,781)	1,851,198 (38,505)
	洋書	138,463 (2,141)	647,651 (10,928)	209,507 (5,332)	99,980 (1,331)	70,106 (583)	150,683 (896)	79,633 (1,178)	6,813 (170)	56,700 (905)	1,459,536 (23,464)
	合計	451,591 (10,681)	1,182,277 (23,636)	440,726 (8,262)	259,641 (4,752)	299,963 (3,129)	261,213 (2,430)	125,329 (2,800)	48,814 (1,593)	241,180 (4,686)	3,310,734 (61,969)
16年3月現在雑誌所蔵種類数（15年度購入種類数）	和雑誌	1,333 (606)	2,039 (1,308)	2,275 (1,797)	2,695 (1,432)	1,544 (1,092)	1,871 (495)	696 (477)	426 (317)	3,284 (1,147)	16,163 (8,671)
	洋雑誌	836 (222)	5,567 (2,000)	2,493 (1,176)	1,101 (311)	715 (394)	1,914 (540)	1,377 (504)	142 (75)	1,409 (283)	15,554 (5,505)
	合計	2,169 (828)	7,606 (3,308)	4,768 (2,973)	3,796 (1,743)	2,259 (1,486)	3,785 (1,035)	2,073 (981)	568 (392)	4,693 (1,430)	31,717 (14,176)
館外貸出冊数（14年度）	教職員等	3,678	7,875	1,193	1,961	4,650	1,869	8,551	1,055	2,786	33,618
	学生	54,410	67,804	31,202	19,030	16,885	2,906	5,236	10,776	15,446	223,695
入館者数（14年度）		327,116	169,671	147,360	69,213	82,427	データなし	125,423	76,662	49,352	1,047,224
14年度ILL複写件数（貸借件数）	依頼	989 (356)	2,950 (858)	3,930 (68)	1,099 (361)	3,416 (356)	25 (16)	5,153 (10)	2,483 (20)	596 (35)	20,641 (2,080)
	受付	239 (247)	7,300 (1,469)	3,511 (89)	599 (246)	1,577 (87)	601 (34)	7,088 (26)	262 (25)	782 (59)	21,959 (2,282)
施設	面積	3,396	7,291	3,287	1,198	1,504	1,164	1,612	848	2,107	22,407
	座席数	440	213	179	78	137	14	138	70	107	1,376

注）「大学図書館実態調査」による。
社会科学系図書館は、増築（H16年竣工予定）により、10,931㎡となる予定

諸統計の年次推移

項目 / 年度	蔵書総冊数（受入冊数） 和書	洋書	合計	所蔵雑誌種類数（受入雑誌種類数）	館外貸出冊数 学生	ILL複写件数（貸借件数） 依頼	受付	資料費（千円）
昭和 63 年度	1,402,936 (38,853)	1,110,684 (38,315)	2,513,620 (77,168)	25,331 (16,165)	141,187	4,970 (170)	5,204 (62)	605,566
平成 3 年度	1,516,243 (35,113)	1,202,709 (29,322)	2,718,952 (64,435)	26,411 (17,011)	151,193	5,557 (255)	7,807 (155)	619,709
平成 6 年度	1,614,293 (31,696)	1,287,863 (28,446)	2,902,156 (60,142)	27,833 (17,223)	148,610	9,269 (346)	14,340 (518)	658,898
平成 9 年度	1,735,907 (41,056)	1,380,723 (32,113)	3,116,630 (73,169)	29,183 (17,038)	168,219	15,120 (1,630)	25,288 (1,699)	760,340
平成 10 年度	1,774,764 (38,865)	1,408,469 (27,754)	3,183,233 (66,619)	30,205 (16,747)	189,569	16,404 (1,755)	24,848 (2,377)	797,357
平成 11 年度	1,822,792 (48,102)	1,437,583 (29,110)	3,260,375 (77,212)	30,069 (16,446)	207,008	17,647 (1,779)	21,442 (2,573)	838,136
平成 12 年度	1,865,220 (45,722)	1,467,065 (29,520)	3,332,285 (75,242)	30,345 (16,322)	215,845	19,653 (1,233)	18,421 (2,515)	781,078
平成 13 年度	1,907,538 (42,271)	1,494,978 (28,160)	3,402,516 (70,431)	30,818 (15,970)	227,549	21,977 (2,049)	22,981 (2,332)	744,699
平成 14 年度	1,953,518 (46,948)	1,509,172 (24,562)	3,462,690 (71,510)	31,007 (15,661)	223,695	20,641 (2,080)	21,959 (2,282)	716,662

注）現行館室の前身（神戸商船大学図書館、経済経営研究所図書室など）の値も合算した数値とした。

利用サービスの展開

平成15（2003)年度 サービス対象者数	学部	大学院	教職員	合計
	13,206	5,186	4,239	22,631

開館時間

平成16年4月現在

		総合図書館・国際文化学図書館	社会科学系図書館	自然科学系図書館	人文科学図書館	人間科学図書館	経済経営研究所図書館	医学分館	保健科学図書室	海事科学分館
通常期	平日	9:00-20:00	9:00-20:00	9:00-20:00	9:00-20:00	9:00-20:00	9:00-17:00	9:00-21:00	9:00-20:00	9:00-20:00
	土曜	12:30-17:00	11:00-18:00	12:30-17:00	12:30-17:00	休 館	休 館	9:00-17:00	11:00-14:30	12:30-17:00
	日曜	休 館	11:00-18:00	休 館	休 館	休 館	休 館	休 館	休 館	休 館
休業期		平日17:00まで 土日休館	8月のみ 平日17:00まで 土日休館	平日17:00まで 土日休館	平日17:00まで 土日休館	平日17:00まで 土日休館	通常期と同じ	通常期と同じ	平日17:00まで 土日休館	平日17:00まで 土日休館
試験期 特別開館		平日21:00まで 日祝12:30-17:00	平日21:00まで 日祝11:00～18:00	平日21:00まで 日祝12:30-17:00	平日21:00まで 日祝12:30-17:00	平日21:00まで	なし	なし	なし	平日21:00まで 土日祝10:00-18:00

＊24時間開館（図書館特別利用）

医学分館	H9年度導入	教職員、大学院生、医学科３～６年次生
自然科学系図書館	H11年度導入	教職員、大学院生

貸出図書配送（デリバリサービス）

平成12（2000）年度後期より、貸出・返却図書の館室間配送を行っている。利用者はWWW経由もしくはカウンターで申し込むと、他館室の図書を最寄りの館室で受け取ることができる（返却も最寄り館室で可）。

六甲地区各館室間（週3回配送）は教職員・大学院生、キャンパスの離れた館室間（随時配送）は教職員・学生をサービス対象としている。

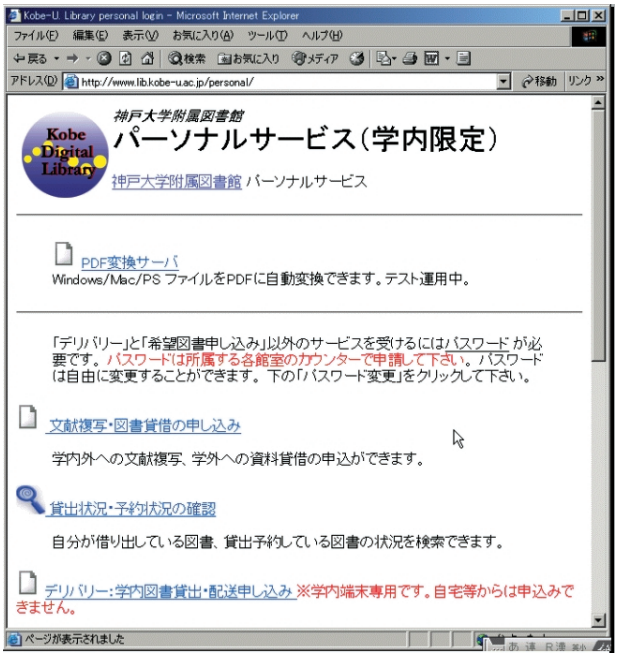
平成14年度には、延べ1,656人に対して、3,328冊の貸出を行った。

パーソナルサービス

平成13（2001）年から、利用者がWWW上より各種の申込・情報照会を行えるサービスを、「パーソナルサービス」メニューにまとめて提供している。

これらのサービスの多くは、図書館の利用IDとパスワードによる認証を行っている。

- 文献複写申込み（学内外）・依頼状況照会
- 学外図書貸出申込み・依頼状況照会
- 貸出状況・予約状況照会
- 貸出図書配送申込み
- 購入希望図書申込み
- 研究用図書購入申込み・状況照会（教職員のみ）
- 研究用図書費執行状況照会（教職員のみ）



リテラシー教育

平成13（2001）年設置の情報サービス課情報リテラシー係を中心に実施している。

平成15（2003）年度実施のガイダンス等

名　　称	内　　容	時　期	時　間	会　　場	回　数
新入生オリエンテーション	施設紹介・利用全般	4月上旬	15分	各学部会場	32
OPACガイダンス	OPAC検索方法、資料入手方法	4月下旬	60分	自然科学系図書館	15
OPACガイダンス （教職員対象）	検索方法、資料購入方法	5月上旬	45分	各館室	42
留学生ガイダンス	利用全般	4、10月	10分	六甲ホール	2
情報の探し方ガイダンス （基礎編） *各種類独立	新聞記事の探し方 雑誌論文の探し方（国内編） 雑誌論文の探し方（海外編） 図書情報の探し方	5月下旬	60分	自然科学系図書館	16
情報の探し方ガイダンス （名谷地区）	各種データベース	5月下旬	30分	名谷分室 （保健科学図書室）	6
論文・レポート作成のための情報検索の初歩	各種データベース	6-7月	60分	自然科学系図書館	40
デジタル・アーカイブ・ガイダンス	各種データベース	10月下旬	60分	自然科学系図書館	20

これに加えて、工学部・理学部の一部学科（1年次、3年次）で授業の一環としてのガイダンス（30分～3時間）を実施している。

また、Web of Science等のデータベースについて、ベンダー講師を迎えてのガイダンスを行うこともある。

平成16年（2004）年度より、１年次生向けの必修科目「情報基礎」において、1/2コマを図書館情報にあて、図書館職員が担当する。



利用者開放端末

平成16年4月現在

	制限なし	一部サイト	OPAC専用	スタンドアロン	利用者貸出用	合　　計	情報コンセント
総合・国際文化学図書館	25	8	1	1	0	35	3
社会科学系図書館	15	5	3	7	0	30	3
自然科学系図書館	20	1	6	1	0	28	12
人文科学図書館	10	3	0	0	0	13	4
人間科学図書館	10	2	2	0	0	14	5
医学分館	8	2	2	0	0	12	25
保健科学図書室	7	2	2	1	0	12	2
海事科学分館	11	0	5	0	8	24	20
経済経営研究所図書館	0	2	0	0	0	2	0
合　　計	106	25	21	10	8	170	74

平成15（2003）年にシンクライアント方式のディスクレス端末（MintPC）100台を導入し、集中制御による管理の簡便化とセキュリティ強化を図った。学術情報基盤センターの認証サーバを利用し、学生等の利用者はID認証を経てインターネットに接続できる。

加えて、国立国会図書館など選ばれた情報検索サイトのみ利用可、当館OPACのみ利用可、CD-ROM等のスタンドアロン利用のみ可、の端末も一定台数揃えている。これらは認証なしで利用可能である。

また、情報コンセントも各館室に整備している。

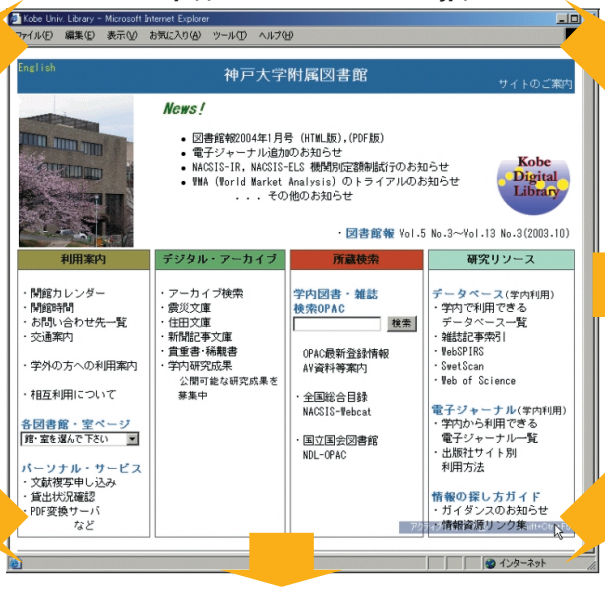
図書館ホームページを核とする電子図書館サービス

平成6（1994）年からホームページの作成を開始し、翌7（1995）年から正式運用している。
現在は、図書館業務システム・電子図書館システムにより構築されるリソースやサービスを、ホームページから統合的にアクセス可能としている。

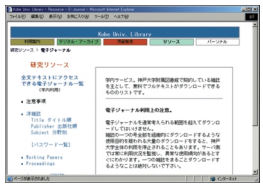
利用案内、図書館報 など



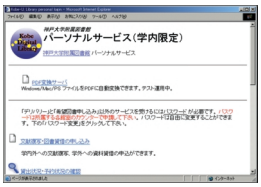
http://www.lib.kobe-u.ac.jp/



研究リソース（電子ジャーナル、データベース等）



パーソナルサービス



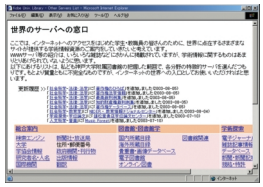
OPAC



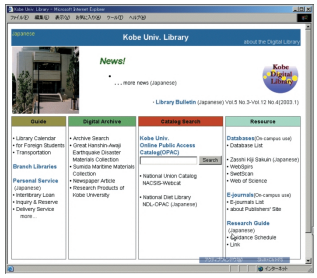
デジタルアーカイブ



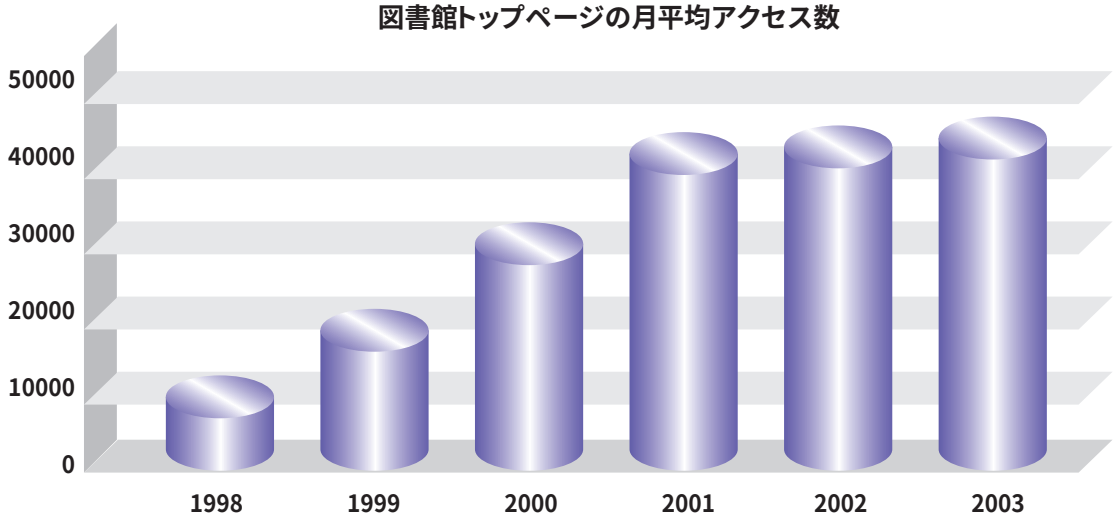
リンク集、リテラシー教材など



English Version



図書館トップページの月平均アクセス数

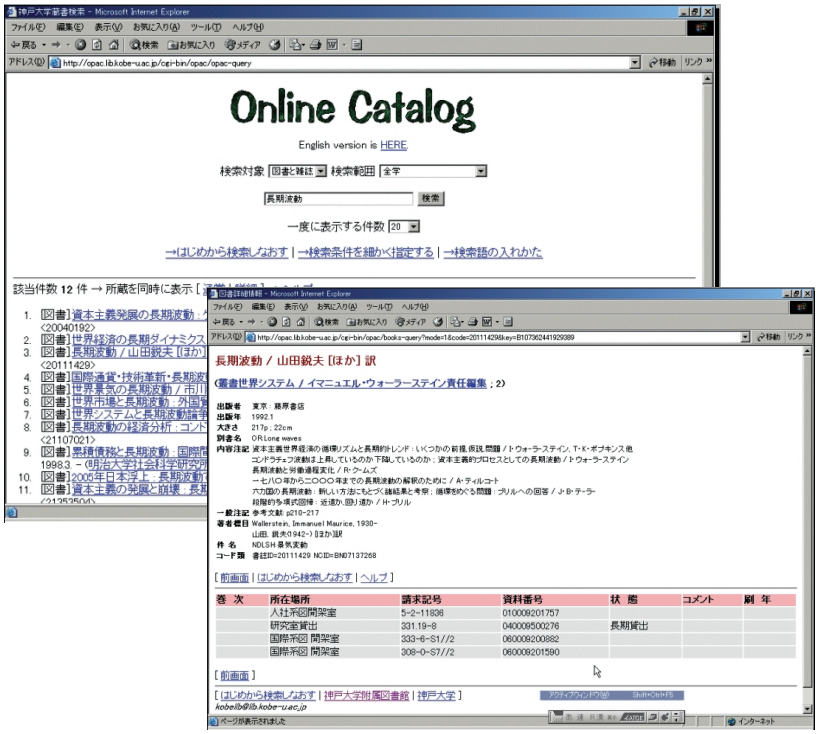


目録データベースの形成とOPAC

目録業務の電算化は平成元（1989）年の図書館専用電算機導入とともにはじまり、同時にOPACの提供も開始された。当初は図書館内のみの利用であったが、平成3（1991）年には独自開発のシステムで研究室等からの検索を可能としている。

平成9（1997）年、UNIX系サーバへのシステム更新により、WWW版OPACが運用され、学外からも蔵書検索が可能となった。

さらに平成13（2001）年のシステム更新ではレスポンス向上に加えて、利用者による端末からの貸出予約・貸出状況照会が可能となった。



遡及入力（インテリジェント化事業）

平成4（1992）年、附属図書館運営経費予算の中で「附属図書館インテリジェント化事業」経費が五カ年計画で認められ、目録遡及入力事業を開始することとなった。計画は第１期（平成4-8年）、第２期（平成9-13）を経て、現在第３期（平成14-18）事業の途上にある。

また、平成7-10年の間は科学研究費補助金研究成果公開促進費（データベース名：社会科学文献・画像データベース）の一部を、平成11年以降は電子図書館推進経費の一部を遡及入力に充当している。

平成15（2003）年度末現在で約210万冊が登録されており、第3期五カ年計画が予定通り進めば、完遂に向けてある程度の目途がつく見込みである。

館室別のOPAC収録状況（平成16年3月現在）

総合･国際文化学図書館	開架室図書及び書庫内洋書はほぼ完了。書庫内和書は継続入力中
社会科学系図書館	洋書はほぼ入力完了。和書は1945年以降ほぼ完了、それ以前は継続入力中
自然科学系図書館	ほぼ全図書を入力完了
人文科学図書館	和書はほぼ入力完了。洋書は1980年以降ほぼ完了、それ以前は継続入力中
人間科学図書館	ほぼ全図書を入力完了
医学分館	ほぼ全図書を入力完了
保健科学図書室	ほぼ全図書を入力完了
海事科学分館	継続入力中、残りは全体の10%程度
経済経営研究所図書館	1989年以降の図書は完了。それ以前のものを順次入力予定

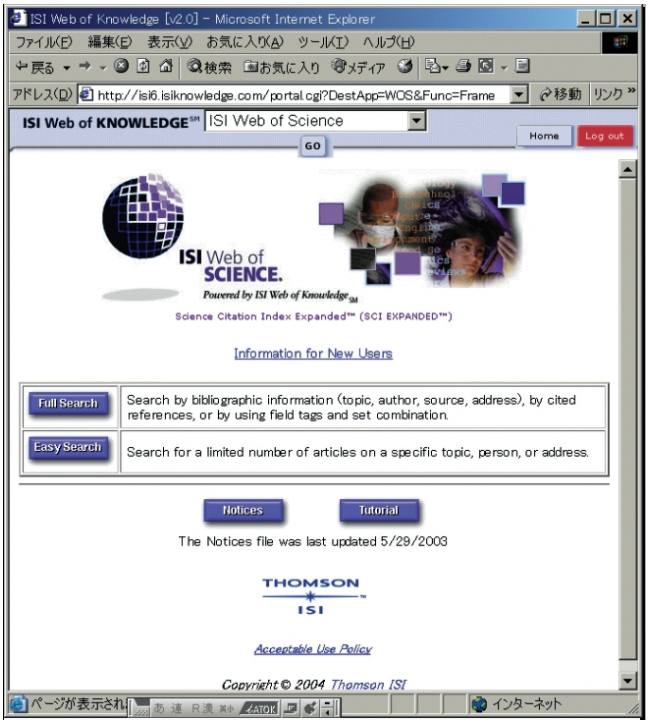
注）「完了」扱いでも、特殊文庫や中国語図書など一部の資料は残っている場合がある。
また、上記は図書館配架図書の状況であり、研究室等備付図書が未入力となっている場合がある。

電子ジャーナルとデータベース

■学内から利用できる主な出版社の電子ジャーナル（合計　5,179誌）

Elsevier	1,636 誌
Wiley	401 誌
Springer	421 誌
Blackwell	595 誌
JSTOR	180 誌
LWW via Ovid	100 誌
Nature関連誌	16 誌
Cell関連誌	7 誌
IEEE Computer Society	22 誌
ACM	31 誌
SourceOECD	15 誌
J-STAGE	96 誌
HighWire Press	103 誌
ACS	35 誌
NACSIS-ELS	422 誌
その他	1,099 誌

平成 16 年 4 月現在



■学内から利用できるデータベース一覧

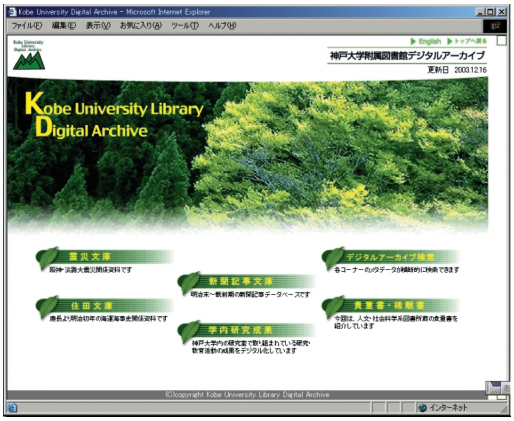
平成 16 年 4 月現在

分野内容	データベース	分野内容	データベース
引用情報	ISI Web of Science 1996-	人物情報	Dictionary of National Biography
雑誌記事	SwetScan 1995-		Dictionary of American Biography
	Readers' Guide to Periodical Literature 1983-		Who's Who 1897-1998
新聞記事	聞蔵(Web版朝日新聞記事索引)1984-	歴史	International Medieval Bibliography
各種	NACSIS-IR	教育	Education : the complete encyclopedia
法律	Index to Legal Periodicals & Books 1981-	各国情報	World Development Report
経済学	EconLit 1969-		World Development Indicators
経営学	Business Periodicals Index 1982-		Encyclopedia of the American Constitution
医学	医中誌Web 1983-		ASIA : Official British Documents 1945-
	Atlas of Anesthesia	哲学	Routledge Encyclopedia of Philosophy
	Dorland's Electronic Medical Dictionary	事典	McGraw-Hill Multimedia Encyclopedia of Science & Technology
	Elsevier's Interactive Anatomy	出版情報	Global Books in Print
数学	MathSciNet	統計	商業統計表　昭和60-
化学	CAonCD 1997-2003		工業統計表　昭和60-
	Dialog OnDisc Polymer Encyclopedia		国勢調査（従業通学Ｉ）昭和60-
	Properties of Organic Compounds		国勢調査（第２次基本集計）昭和60-
	Handbook of Ternary Alloy Phase Diagram	社会学	Cross-Cultural Database
英語辞書	Oxford English Dictionary. 2nd ed		

（詳細は http://www.lib.kobe-u.ac.jp/resonrce/database/list.html）

デジタルアーカイブの構築・提供

「神戸大学電子図書館システム」事業は、所蔵資料や学内研究・教育成果を広く全国・世界に情報発信する「デジタルアーカイブ」の構築・提供を中心としており、社会に対する本学の知的資源のポータル（窓口）機能を果たすことを目指している。

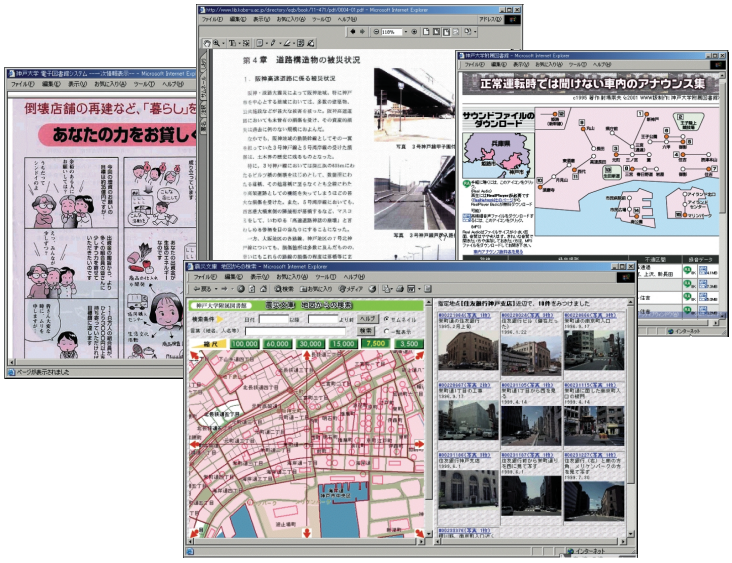


震災デジタルアーカイブ

「震災文庫」所蔵資料について、詳細メタデータの提供に加え、著作権者の許諾が得られた一次情報のデジタル公開を行っている。公開一次情報は、図書約300点、写真約24,000枚、一枚もの約3,000点のほか、動画・音声・広報類・データファイルなど多岐に渡っている（平成16年3月現在）。

平成15（2003）年より「地図からの検索」機能を導入するなど、システム改良にも努めている。

本アーカイブの構築には、平成11～15年度の間、科学研究費補助金研究成果公開促進費（データベース名：阪神・淡路大震災マルチメディア・アーカイブズ）の助成を受けた。



経済関係資料アーカイブ

明治末～戦前期の新聞切抜資料「新聞記事文庫」（経済経営研究所図書館所蔵）の全文・画像デジタル化を進め、約75,000記事を公開している。

また、江戸期～明治初期の海事関係資料コレクション「住田文庫」の一部をデジタル公開している。

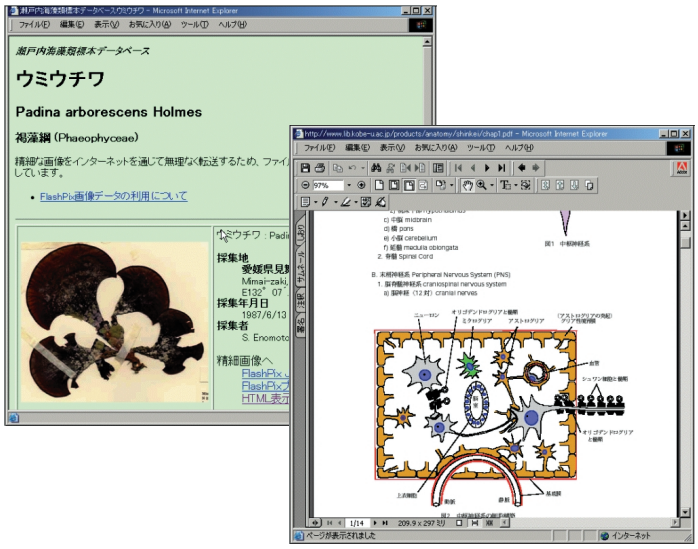
その他、神戸港開港関係資料や各種貴重書についても進行中である。



学内研究・教育成果

「瀬戸内海海藻類標本」（内海域環境教育研究センター）や「解剖学講義ノート」（医学系研究科）等を図書館サーバから公開している。

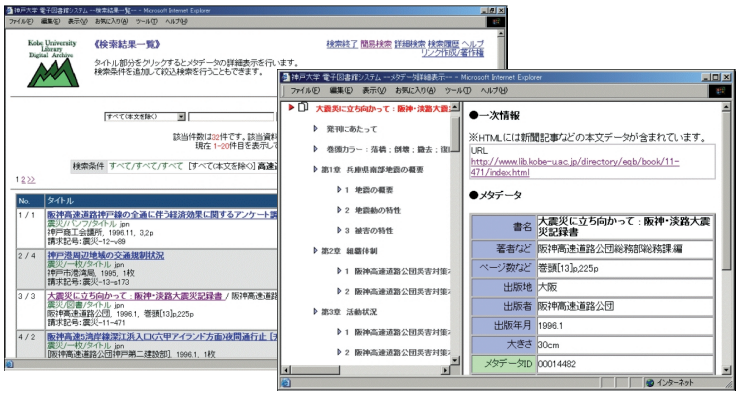
　また、科学研究費報告書・学位論文・研究紀要等のメタデータ作成、国立情報学研究所「大学情報メタデータ・ポータル」への学内発信情報登録なども行っている。



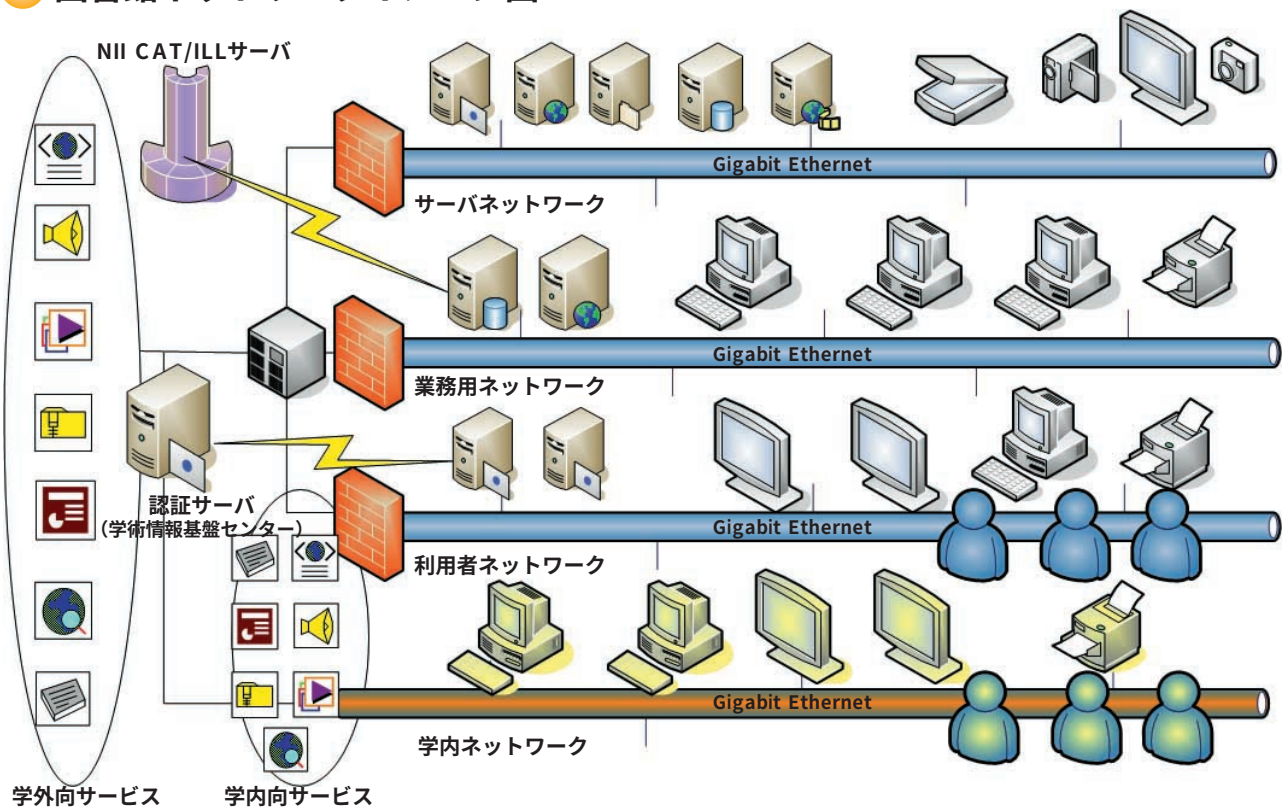
デジタルアーカイブ検索

　各種のアーカイブを統合的・横断的に検索可能な「デジタルアーカイブ検索」機能を提供している。

　各資料に付与されたメタデータを検索し、一次情報までシームレスに到達できるシステムとなっている。



図書館ネットワークイメージ図



図書館情報システム

図書館業務の電算化は昭和58（1983）年に開始され、外国雑誌業務を皮切りに各種業務の電算化を行った。当初は総合情報処理センター（現・学術情報基盤センターの電算機を利用して独自開発していたが、平成元（1989）年にいたって専用電算機とパッケージシステムを導入した。平成9（1997）年に図書館業務システムはUNIXベースのトータルシステムとなり、平成13（2001）年のシステム更新を経て、現在に至っている。

「神戸大学電子図書館システム」は平成10（1998）年度の補正予算で措置され、11年から稼働した。先導的電子図書館システムとして奈良先端科学技術大学院大学、京都大学、筑波大学、東京工業大学に次ぐ5番目の予算措置であった。デジタルアーカイブ運用のための大容量・高性能サーバや全文検索エンジン（OpenText）、アーカイブ構築系システム、利用者閲覧用システムなどを備えたシステムである。電子図書館システムは平成15（2003）年にシステム更新を行い、検索システムの改良やGIS（地理情報システム）サーバの導入などが実現された。

図書館業務システム			
(NEC Licsu-LX)	データベースサーバ	NEC Express5800/140Ha	1
	OPAC サーバ	NEC EWS4800/570AD	1
	業務用 WS	NEC EWS4800/410,410AD	12
		NEC EWS4800/530	1
	業務用端末	NEC Mate MA56H/L	55
		NEC Mate MA21X/B	8
電子図書館システム			
(Infocom InfoLib ほか)	WWW サーバ	Panastation SS-UF280R	1
	DB サーバ	Panastation SS-UF280R	1
	検索サーバ	Panastation SS-UF280R	1
	ERL サーバ	Panastation DL380G2	1
	ストリーミングサーバ	Panastation DL380G2	1
	GIS サーバ	Panastation DL380G2	1
	DVD ライブラリ	Rexas　DVRS100CX	1
	入力用端末	Compaq Evo Desktop D510 SF	18
	検証用 PC	PowerMacG4	1
	検証用ノート PC	Compaq Evo Notebook N1000v	7
	カラーレーザプリンタ	Xerox DocuPrint C2220	2
	モノクロレーザプリンタ	Xerox DocuPrint 360	2
		Xerox DocuPrint 260	7
	カラーイメージスキャナ	Epson ES-8500	2
		Epson ES-2200	2
	デジタルビデオカメラ	Canon DM-IXY DV3	2
	デジタルスチルカメラ	Canon PowerShot G2(D)	2
	プロジェクタ	Canon LV-7340J	2
	OS イメージサーバ	Panastation DL380G2	5
		Panastation ML370G2	2
	利用者端末	Mintwave MintPC ridotto-2	100
	プリンタ	Xerox DocuPrint 260	7
	Firewall	Nokia IP710	1
	ネットワーク基幹 SW	Nortel Passport 8603	1
(NTT-AT Express Finder)	DB サーバ	Sun Fire V480	1
	検索サーバ	Dell PowerEdge 2600	1
	PDF 変換クライアント	Dell PowerEdge 1600SC	1
		PowerMacG4	1
(Infocom SwetScan)	インデックスサーバ	Sun Fire 280R	1
	検索サーバ	Sun Fire V480	1

総合図書館・国際文化学図書館

General Library
Library for Cross-Cultural Studies

平成16（2004）年度より、「国際・教養系図書室」の機能のうち、全学共通教育対応の学習図書館機能を担う「総合図書館」と、国際文化学部・総合人間科学研究科を主なサービス対象とする「国際文化学図書館」に、組織を分離させた。ただし、当分の間は総合図書館の新営（学習図書館機能に加え全学図書館調整機能等をも持つ予定）をめざしながら、同一施設をもって利用サービスを行う。

本図書館は長く「教養部分館」であったが、平成4（1992）年の教養部改革とともに、全学共通教育と国際文化学部等の両面に対応する性格を帯びて運営されてきたものである。

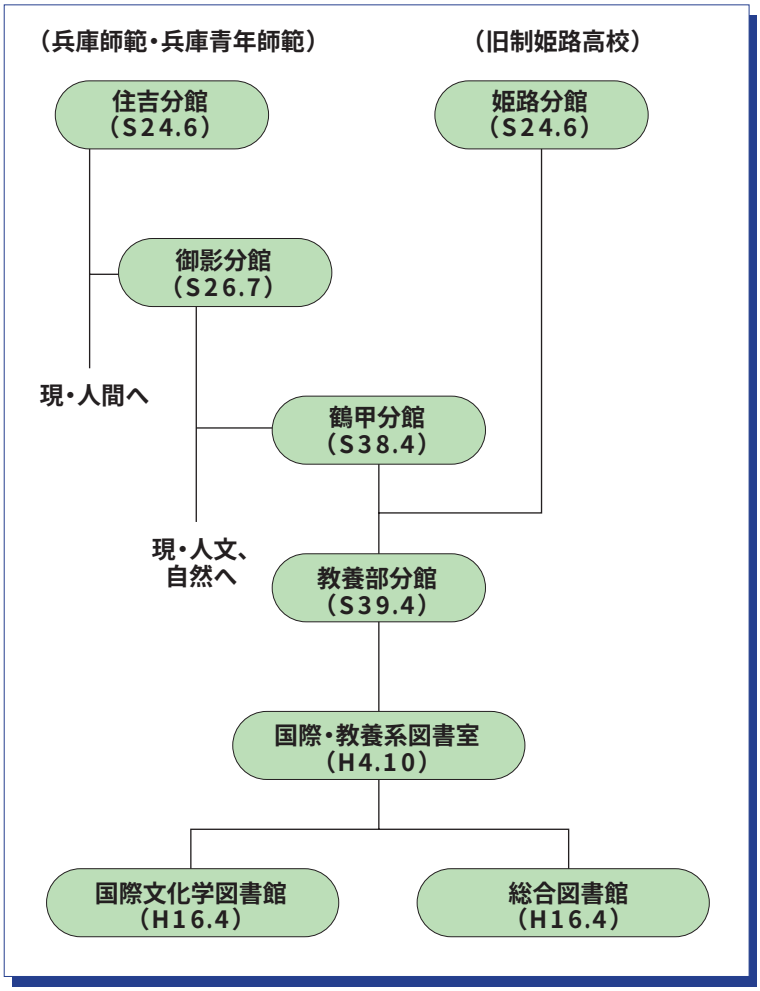
学問体系のほとんど全分野にわたる資料を所蔵し、特に一般教養図書、雑誌、ビデオ教材等が豊富である。

本図書館は国際文化学部A棟2階及びE棟2,3階に位置し、A棟2階に正面出入口がある。









貴重資料

「広峰神社古文書」

広峰神社（姫路）に伝わった古文書19点（鎌倉期のものを含む。）

「浄土寺縁起」

浄土寺（小野市）に関わるもので、慶長年間の写本であるが、原本の内容を正確に伝えているといわれる。

「播州膝栗毛」（上巻一・二）

十返舎一九著。江戸後期の刊本であるが、他に所在が確認されていない。



社会科学系図書館

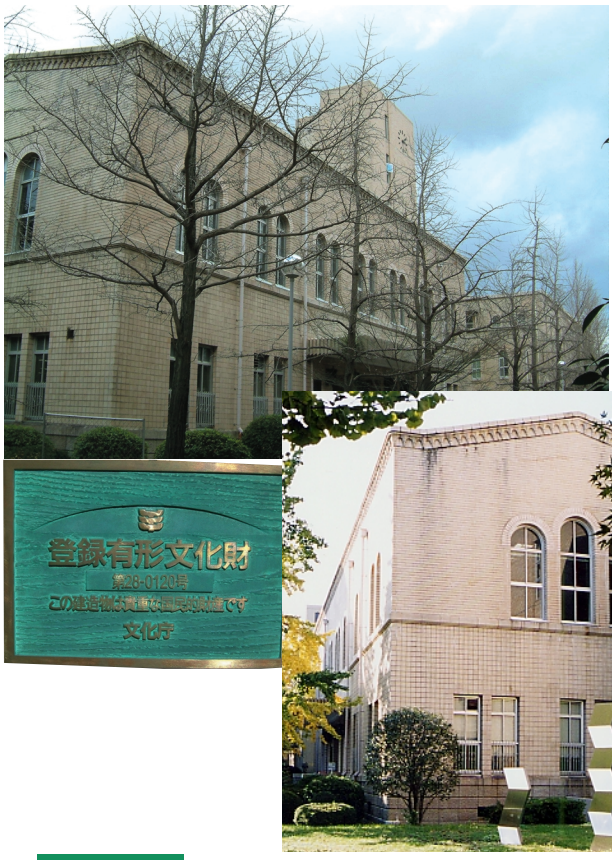
Library for Social Sciences

平成16（2004）年度より、「人文・社会科学系図書館」から「社会科学系図書館」に改称した。学内で最も長い歴史と大きな規模を持つ図書館であり、法学研究科（法学部）・経済学研究科（経済学部）・経営学研究科（経営学部）・国際協力研究科を主なサービス対象としている。

本図書館は昭和8（1933）年竣工の本館と増築を重ねた書庫棟及び管理棟からなる。平成16（2004）年度には隣接して新営の総合研究棟の一部（地下2階～地上3階）3,640㎡が加わる予定である。なお、本館は平成15（2003）年に文化庁より「登録有形文化財」の指定を受けている。

神戸高等商業学校時代からの蔵書を引き継いでおり、社会科学関係資料においては質量ともに高い評価を受けている。また、人文・社会科学系外国雑誌センター及び「震災文庫」も本図書館に置かれている。

本図書館は、附属図書館全体の管理運営機能（中央図書館機能）をも果たしてきた。平成16年度より「総合図書館」組織を立ち上げているが、総合図書館新営までの当分の間、中央機能は引き続き本図書館に置かれる。



(神戸高等商業学校
神戸商業大学
神戸経済大学)

六甲台分館
（S24.6）

六甲台図書館
（S55.4）

人文・社会科学系図書館
（S59.4）

社会科学系図書館
（H16.4）

貴重資料

「住田文庫」
住田正一氏より寄贈された、慶長～明治初年の海事・海運関係資料コレクション

「村上文書」
摂津花隈村村上家旧蔵文書

「ズムマ」（ルカ・パチョーリ著）
『算術・幾何・比および比例全書』。
複式簿記に関して世界で最初に出版された図書といわれる。1494年ベネチア刊の初版本を所蔵している。



自然科学系図書館

Library for Science and Technology

理学部、工学部、農学部及び自然科学研究科を主なサービス対象とする。昭和59（1984）年に当時の理・工・農各学部図書館を集中して新営された図書館である。

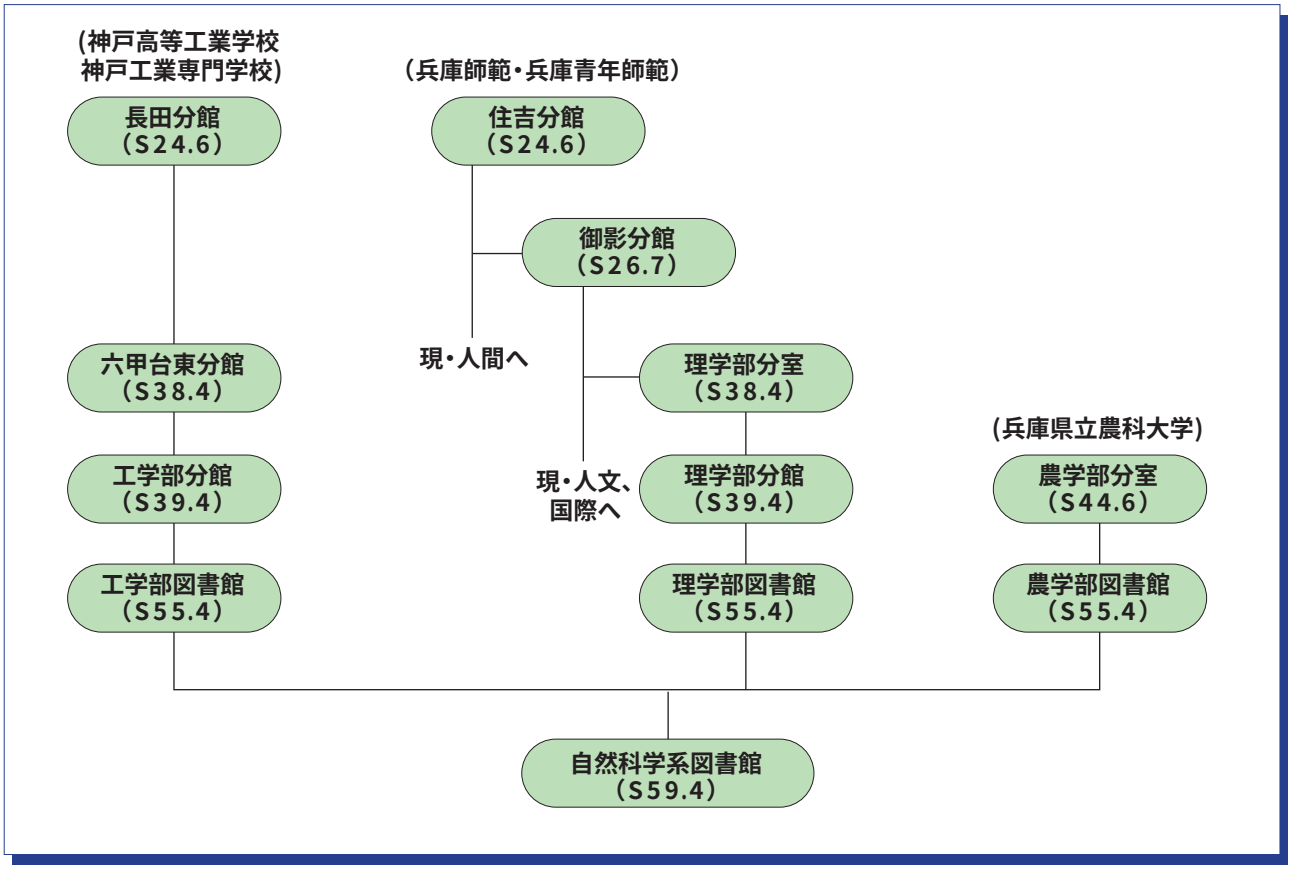
本図書館では、自然科学系分野の教育・研究活動にとって最重要資料である学術雑誌を、研究室等に分散することなく、集中配架を行っている。また、全面開架制の採用や特別利用（24時間開館）によって利用者の便をはかっている。

本図書館の建物は学術情報基盤センターと結合しており、附属図書館のシステム及びネットワークの中心機能を持っている。









人文科学図書館

Library for Humanities



文学部及び文化学研究科を主なサービス対象とする。平成16（2004）年4月より、「人文科学系図書室」から「人文科学図書館」へと改称した。

蔵書は人文科学系の資料が中心であるが、特に和漢洋の古典、人文科学研究に必須の基本的図書等の整備・拡充に努めている。

本図書館は文化学研究科棟の1，2階に位置している。書庫については、平成6年に電動集密書架が設置されている。



（兵庫師範・兵庫青年師範）

住吉分館（S24.6）

御影分館（S26.7）

現・人間へ

六甲台南分館（S38.4）

現・国際、自然へ

文学部分館（S39.4）

文学部図書館（S55.4）

（人文・社会科学系図書館）人文科学分室（H59.4）

人文科学系図書室（H4.4）

人文科学図書館（H16.4）



貴重資料

Brucker, Johann Jacob. *Historia critica philosophiae*

1767年出版の第2版全6巻を所蔵。初版は1742～44年であるが、第2版で夥しい補注が付されており貴重である。

「小林文庫」

小林太市朗氏旧蔵の芸術・哲学・文学関係和漢洋書

「井上文庫」

井上庄七氏旧蔵の西洋近世哲学関係洋書

「雪山文庫」

雪山俊夫氏旧蔵のドイツ学関係図書

「市川文庫」

市川承八郎氏旧蔵の西洋史学関係図書



人間科学図書館

Library for Human Development Sciences

発達科学部及び総合人間科学研究科を主なサービス対象とする。長く「教育学部分館」であったが、平成4（1992）年に教育学部が発達科学部に改組されたことに伴い、「人間科学系図書室」の名称となった。平成16（2004）年4月より「人間科学図書館」へと改称した。

蔵書は旧教育学部分館のものを引き継いでいるため、発達科学のみならず、人文・社会・自然・芸術・体育など広範囲に及んでいる。

本図書館は発達科学部A棟1,2階に位置している。平成8（1996）年に閲覧室拡張等の改修工事が行われ、また平成15（2003）年までに書庫の一部に電動集密書架が設置されている。





（兵庫師範・兵庫青年師範）

住吉分館（S24.6）

現・国際、人文、自然へ

教育学部分館（S39.4）

人間科学系図書室（H4.4）

人間科学図書館（H16.4）

貴重資料等

「播陽萬寶智恵袋」

天川友親編、宝暦10（1769）年。播磨の地誌典籍125編を編集したもので、自筆原本を所蔵している。

「郷土研究資料」

兵庫県の歴史、地誌、教育に関する資料約7,000冊を所蔵している。

「教科書」

明治期の教科書から現行のものまで多数所蔵している。



経済経営研究所図書館

Library of Research Institute for Economics and Business Administration

従来、附属図書館組織に属さない専門図書室として運営されてきたが、平成16（2004）年4月より附属図書館の一館と位置づけられた。

経済学・経営学関係の図書・雑誌を幅広く収集しているほか、内外の企業関係資料や中南米関係資料などのコレクションを有している。また、経済協力開発機構（OECD）、国際労働機構（ILO）、世界貿易機関（WTO）、国際海事機構（IMO）、国際通貨基金（IMF）、世界銀行などの資料も積極的に収集している。

本図書館は、経済経営研究所新館西側の1,2階に位置している。







国連寄託図書館

本図書館は国連寄託図書館の指定を受けている（日本国内に14ヶ所あるうちの一つ）。1968年に設置されて以来、国際連合から直接送られてくるドキュメントや公式記録等を広く一般に公開している。

（神戸経済大学経済研究所・
経営機械化研究所）

経済経営研究所図書室
（S24.5）

経済経営研究所図書館
（H16.4）

新聞記事文庫

明治末～昭和45年の新聞記事切抜資料。多種の新聞からの記事を研究者の目で分類しており、特に戦前のものは他に例のない貴重なものである。

中南米文庫
オセアニア文庫

中南米文庫は福原八郎・野田良治両氏の寄贈図書を、オセアニア文庫はオーストラリア政府寄贈図書を基礎としており、ともに地域研究資料として高く評価されている。



医学分館

Library for Medical Sciences

楠キャンパスにあって、医学系研究科医科学専攻（医学部医学科）及び附属病院を主なサービス対象とする。昭和39（1964）年、兵庫県立神戸医科大学の神戸大学への移管に伴い、「医学部分館」として発足した。平成16（2004）年4月より「医学分館」と改称した。

蔵書内容は医学関係の学術雑誌を主体とし、広く医事・医療関係者も利用できる図書館となっている。また、医学部で新たに開始されたチュートリアル教育の資料提供も行っている。

利用面では、平成9（1997）年より特別利用（24時間開館）を実施し、また平成11（1999）年よりIDカードによる入退館システムを導入している。

本分館は、医学系研究科管理棟の地階～2階に位置しており、現施設は平成8（1996）年に新営されたものである。







（兵庫県立神戸医科大学）

医学部分館
（S41.4）

医学分館
（H16.4）



保健科学図書室

Library for Health Sciences

名谷キャンパスにあって、医学部保健学科（及び医学系研究科保健学専攻）を主なサービス対象とする。昭和56（1981）年に医療技術短期大学部図書館として発足したが、医学部保健学科発足後の平成9（1997）年に附属図書館組織に編入され「名谷分室」となった。平成16（2004）年4月より「保健科学図書室」と改称した。

看護・検査・リハビリテーション・医療基礎関係の資料を中心とした蔵書構成となっている。

また、臨床教育シミュレーションシステム装置を備え、図書室所蔵のビデオ・スライド等を個人またはグループで視聴しながら学習・研究するためのＡＶ室が利用できる。

グループで学習するときなどは紀要・学会・病院関係資料を備付けているグループ学習室が利用でき、ビデオ・スライド等の視聴覚教材を用いて授業を行うためのカンファレンス室、教官がビデオ教材等を作製し、その教材等を保管する音声画像処理室も設置されている。

本図書室は医学部保健学科A棟2階と接続している。





医療短期大学部図書館
（S56.10）

↓

医学部分館名谷分室
（H9.4）

↓

保健科学図書室
（H16.4）



海事科学分館

Library for Maritime Sciences

深江キャンパスにあって、海事科学部及び自然科学研究科（海事関係）を主なサービス対象とする。平成15（2003）年10月、神戸大学と神戸商船大学の統合によって、神戸商船大学附属図書館が「海事科学部分館」となった。平成16（2004）年4月より「海事科学分館」と改称した。

蔵書の中心は海事関係の図書・学術雑誌であって、全国でも数少ない海事専門図書館として学内のみならず学外からも広く利用されている。

本分館の建物は、2階建の本館と、講義・研究棟1号館の一部として建築された書庫（4層）からなっている。





（神戸高等商船学校）

神戸商船大学附属図書館（S27.4）

↓

海事科学部分館（H15.10）

↓

海事科学分館（H16.4）

貴重資料等

海図、水路誌等

約6,000枚の国内・海外の海図や水路誌を備えている。

渋谷文庫

旧日本海軍造機技術資料

市村文庫

海商法関係資料

海事情報ネットワーク

「海の図書館」として、関連図書館及び団体とのネットワークを活用して「海」に関する資料・情報あるいは人のつながりを提供するとともに、電子図書館機能としては、海事資料館、国際海事教育研究センターと連携して世界の海事情報を一括収集・管理し、発信していくことで、国際海事情報ネットワークでのハブ的な役割を果たすことを目指している

海事資料館データベース

深江キャンパスには海事資料館があり、内外の海事資料を収集・展示して、教育・研究及び海事思想の普及に寄与しています。この所蔵資料10,000点のデジタル化作業が進行中で、検索することができます。

http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/

外国雑誌センター

神戸大学附属図書館は、人文・社会科学系外国雑誌センターの指定を受けている。

外国雑誌センターは、外国の学術雑誌、とりわけ国内に所蔵の少ない雑誌を体系的に収集し、全国共同利用に供することを目的として設置され、文部科学省の特別予算措置を受けて運営されているものである。人文・社会科学系、医学・生物学系、理工学系、農学系の４つの分野について、全国で９つの国立大学附属図書館が指定を受けている。

人文・社会科学系の外国雑誌センターとしては、昭和60（1985）年度の一橋大学に続いて、昭和61（1986）年度に本学が指定され、２大学でこの分野の収集につとめ、ILL（図書館間相互利用）システムを通じて全国にサービスされている。

外国雑誌センターは社会科学系図書館に置かれており、平成16年度の受入雑誌数は1,062種である。



震災文庫（阪神・淡路大震災関係資料文庫）

神戸大学附属図書館では、被災地の中にある大学図書館の責務として、平成7（1995）年1月17日に発生した阪神・淡路大震災に関する資料の網羅的収集活動を行い、平成7年10月30日から「震災文庫」として一般公開している（社会科学系図書館内）。

震災文庫では、一般的な図書・雑誌のみならず、チラシ・ポスター・レジュメ・パンフレット・広報紙・写真・ビデオなど、媒体・形態を問わず収集・提供・保存活動を行っている。平成16（2004）年1月現在の収集資料数は36,000点に達している。

また、収集資料をデジタル化してインターネット上に公開する「震災デジタルアーカイブ」事業も積極的に進めている。

http://www.lib.kobe-u.ac.jp/eqb/



収集点数（平成16年1月現在）

図書資料	5,292
雑誌資料	10,783
新聞・広報紙資料	10,436
パンフレット等	4,469
一枚もの資料	5,180
写真資料	82
地図資料	132
動画資料	189
音声資料	67
コンピュータファイル	66
合計	36,696

注）雑誌、広報紙は「号」単位　写真等は枚数ではなくコレクション単位



図書館配置図


六甲台キャンパス
人間科学図書館
発達科学部
神大発達科学部前
経済経営研究所
図書館
国際文化学部
大学教育研究センター
法学部
社会科学系図書館
総合図書館・国際文化学図書館
国際協力研究科
経営学部
経済学部
アカデミア館
工学部
自然科学研究科
自然科学系図書館
農学部
理学部
人文科学図書館
文化学研究科
文学部
阪急六甲
JR六甲道
楠キャンパス
名谷キャンパス
名谷（地下鉄）
医学部
医学分館
友が丘中学校前
保健科学図書室
大倉山（地下鉄）
高速神戸
JR神戸
阪神深江
深江キャンパス
海事科学分館

図書館所在地

◆六甲台キャンパス

総合図書館・ 国際文化学図書館	〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1	TEL(078)803-7351 FAX(078)803-7355
社会科学系図書館	〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1	事務室(078)803-7315 サービス・カウンター(078)803-7339 FAX(078)803-7343
震災文庫		サービス・カウンター(078)803-7342
自然科学系図書館	〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1	事務室(078)803-5303 サービス・カウンター(078)803-5308 FAX(078)803-5310
人文科学図書館	〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1	TEL(078)803-5585 FAX(078)803-5310
人間科学図書館	〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11	TEL(078)803-7951 FAX(078)803-7955
経済経営研究所図書館	〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1	TEL(078)803-7274 FAX(078)803-7274

◆楠キャンパス

医学分館	〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1	事務室(078)382-5305 サービス・カウンター(078)382-5310 FAX(078)382-5319

◆名谷キャンパス

保健科学図書室	〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7-10-2	TEL(078)796-4505 FAX(078)796-4588

◆深江キャンパス

海事科学分館	〒658-0022 神戸市東灘区深江南町5-1-1	TEL(078)431-6239 FAX(078)431-6360



平成16年3月　発行

編集・発行：神戸大学附属図書館
〒657-8501 神戸市灘区六甲台２－１
電　話：078-803-7315（企画係）